

授業科目	地域活性化研究					実務家教員担当科目	-				
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	池口 功晃										
授業概要	本授業はデータ解析を通じた地域活性化について学ぶ。具体的には与えられたデータの構造、データ間の関連性を探りながら、相関、単回帰分析、多変量解析などを通じてデータ解析をおこない、地域活性化の客観的・具体的手法について学ぶことを目的とする。										
授業形態	講義	授業方法	本授業は、PBL(課題解決型学習) およびプレゼンテーションを一部取り入れています。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. データの構造を理解し、単回帰分析・多変量解析ができるようになる。 2. 1. を通じて地域活性化の方向性について検討できるようになる。 回帰分析を利用し、さまざまなデータを分析できるようになる。										
理想的レベル	単回帰分析や多変量解析を通じて地域活性化の方向性について自らの言葉で分析・考察できるようになる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)					備考					
試験											
小テスト	50%										
レポート	50%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T031504J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
復習										4	
授業計画											
第1回	授業ガイダンス、データ解析とは										
第2回	統計の基礎										
第3回	相関と単回帰分析①(相関関係)										
第4回	相関と単回帰分析②(単回帰分析の手法)										
第5回	多変量解析①(要因分析)										
第6回	多変量解析②(多重共線性)										
第7回	多変量解析③(演習)										
第8回	多変量解析④(数量化理論I類)										
第9回	多変量解析⑤(数量化理論I類、判別分析①)										

第10回	多変量解析⑥（数量化理論Ⅰ類、判別分析②）
第11回	多変量解析⑦（数量化理論Ⅰ類、判別分析③）
第12回	多変量解析⑧（総まとめ、小テスト）
第13回	多変量解析⑨（アンケートの作成）
第14回	多変量解析⑩（アンケート集計&分析・考察）
第15回	多変量解析⑪（レポート作成及び発表）
テキスト	道用大介『図解でわかる 最新エクセルのデータ分析がみるみるわかる本』，2019年，秀和システム
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	涌井良幸・涌井貞美『Excelで学ぶ多変量解析』ナツメ社
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	新聞・マスコミ等で報道されるさまざまなデータに関心を持つようにしてください。 本授業を履修することで、さまざまなデータを分析し考察できるようになります。データ解析の手法を学び、卒業論文の作成などに役立ててください。